



平成 20 年 10 月 20 日

各 位

会社名 株式会社歌舞伎座
代表者名 代表取締役社長 大谷信義
(コード番号 9661 東証第 2 部)
問合せ先 専務取締役 大沼信之
(TEL 03-3541-8160)

「歌舞伎座さよなら公演」に伴う歌舞伎座再開発計画の進捗状況について

本日、当社より劇場歌舞伎座を賃借している松竹株式会社において、「歌舞伎座さよなら公演」に関する発表が行われました。

歌舞伎座の再開発につきましては、当社は松竹株式会社ならびに関係者と現在も検討を重ねているところであり、未だ詳細について決定されておりませんが、現段階で公表できる内容についてお知らせいたします。

記

1. 現在想定される再開発計画の概要

現在、計画している建物は、劇場とオフィス建物が併設する複合建物で、当社が劇場部分を建設し、松竹株式会社が 100%出資して設立する SPC がオフィス棟部分を建設、それぞれが当該部分を所有いたします。

また、当社所有地を、オフィス棟部分の事業用地として現建物解体当初より SPC に賃貸いたします。

建物概要、建設スケジュールにつきましては、来年 1 月中旬の公表をめどに、現在、関係者と詳細を検討しているところであり、調整がつき次第発表いたします。

2. 再開発期間中の収入について

再開発期間中の当社グループの収入については、劇場賃貸料や、歌舞伎座ビル、劇場周辺建物の賃料収入、劇場内の食堂・飲食、売店収入が途絶えますが、上記記載の SPC からの土地賃貸料および従来からのその他不動産賃貸・飲食事業等により、安定収入を確保いたします。

再開発期間中の年間売上予想(概算)は、不動産賃貸事業が 2,000 百万円(平成 20 年 2 月期実績 1,030 百万円)、食堂・飲食事業 130 百万円(同 946 百万円)、売店事業 10 百万円(同 694 百万円)、合計 2,140 百万円(同 2,670 百万円)を見込み、解体初年度には固定資産除却損等の特別損失が発生いたします。

なお、不動産賃貸事業の売上に含まれる SPC からの土地賃貸料は、検討中の予想数字を使用いたしますので決まり次第、建物概要、建設スケジュール等と併せ損益の予想を公表させていただきます。

以 上